

インライン要素を句読点に食い込ませる

[axf:intrude-into-punctuation](#) の指定により、インライン要素を句読点に食い込ませます。指定は日本語かつ [axf:punctuation-trim="adjacent"](#) のときに機能し、指定値は `none` (既定値)、`start`、`end` のいずれかです。`none` は何もしません。`start` は `start` 側の直前の文字が全角閉じ括弧か全角句読点のとき、`end` は `end` 側の直後の文字が全角開き括弧のとき、それぞれの文字を半角に扱うことでインライン要素を句読点へと食い込ませます。指定の対象となる句読点については [axf.punctuation-trim](#) を参照してください。この機能は Antenna House Formatter V7.1 から利用いただけます。

axf:intrude-into-punctuation="none"

(インライン要素) fo:inline (を句読点に) 食い込ませます。 fo:inline

axf:intrude-into-punctuation="start"

(インライン要素) fo:inline (を句読点に) 食い込ませます。 fo:inline

axf:intrude-into-punctuation="end"

(インライン要素) fo:inline (を句読点に) 食い込ませます。 fo:inline

axf:intrude-into-punctuation="start end"

(インライン要素) fo:inline (を句読点に) 食い込ませます。 fo:inline

この機能は、脚注の合印を句点の後ろに配置して句点を半角に扱いたいときなどに活用できます。

axf:intrude-into-punctuation="none"

インライン要素を句読点に食い込ませます。 ¹⁾

axf:intrude-into-punctuation="start"

インライン要素を句読点に食い込ませます。 ²⁾

¹⁾ `axf:intrude-into-punctuation="none"`

²⁾ `axf:intrude-into-punctuation="start"`